

# 4月から本格稼働する

## 「杏林製薬株式会社」

## 能代工場」をご紹介します



4月1日からの本格稼働に向け、準備を進めている、杏林製薬株式会社の能代工場を訪問しました。世界的に見ても最先端の設備を備えている工場で、高い品質や生産効率向上の実現を目指しています。国内トップクラスの最新鋭機器を備えている工場内を見学させてもらい、会社や工場、能代のことなどいろいろとお話を伺いました。世界でも通用し、活躍している有名企業の新しい工場が、ここ能代で本格的に動き出そうとしています。

今回の企業紹介では、これから能代で頑張っていくこうとしている姿を、少しでも市民の皆さんにお知らせしたいと思います。

### 杏林製薬株式会社

大正12年(1923年)に創業しました。「健康はキョーリンの願いです」という創業の精神は、現在に至るまで脈々と受け継がれています。

人々の健康に貢献する社会的使命を遂行し、生命関連企業として高い倫理感に基づきながら、企業活動を行っています。

### 本格稼働を目指している能代工場

#### 世界一厳しいFDA水準の品質を確保

能代工場は、世界一厳しいといわれている、FDA(米国食品医薬局)の安全・衛生基準に適合する国際水準の新製剤工場として建設されています。

大量生産も可能で技術的に高度な製品を、効率よく生産しようとしています。能代工場は、新たな生産体制の構築を目指した新製剤棟となっていて、16年6月から着工していました。

能代工場が本格稼働することによって、手狭となっていた栃木県野木工場は18年3月で閉鎖されます。

野木工場から能代工場に生産をシフトするため、約80億円を投じた建物工事や生産設備の導入は、ほぼ終了しています。

現在は4月1日の本格稼働に向けて、生産ラインの稼働試験や能代山本地区から採用した(委託)社員の教育実習を行っています。医薬品製造として、製品には高い品質が求められるため、研修はとても重要になります。